

1/5/1 (Item 1 from file: 351)  
DIALOG(R)File 351:Derwent WPI  
(c) 2004 Thomson Derwent. All rts. reserv.

013136926 \*\*Image available\*\*  
WPI Acc No: 2000-308798/ 200027  
XRPX Acc No: N00-231316

**Server apparatus for personal computer communications, has Internet resource information memory which stores Internet resource information for accessing Internet resource by every user**

Patent Assignee: NTT IDO TSUSHINMO KK (NITE )  
Number of Countries: 001 Number of Patents: 001  
Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 2000090033	A	20000331	JP 98258888	A	1998091	200027 B

Priority Applications (No Type Date): JP 98258888 A 19980911  
Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 2000090033	A		8	G06F-013/00	

Abstract (Basic): JP 2000090033 A

NOVELTY - The communication terminal equipment is connected to Internet by the server apparatus through a network. The Internet resource information required by the user for accessing the Internet resource is stored in the Internet resource information memory.

DETAILED DESCRIPTION - INDEPENDENT CLAIMS are also included for the following:

- (a) control procedure of server apparatus;
- (b) control procedure of communication terminal equipment

USE - For personal computer communications.

ADVANTAGE - The labor of registration of user is reduced as the uniform resource location (URL) is stored to server side and is under the control beside a server or communication terminal equipment. The book-mark browsing is performed easily, even when communication terminal equipment is different, as URL registered beforehand is used.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the entire component of the server apparatus.

pp; 8 DwgNo 1/4

Title Terms: SERVE; APPARATUS; PERSON; COMPUTER; COMMUNICATE; RESOURCE; INFORMATION; MEMORY; STORAGE; RESOURCE; INFORMATION; ACCESS; RESOURCE; USER

Derwent Class: P85; T01

International Patent Class (Main): G06F-013/00

International Patent Class (Additional): G06F-015/00; G09C-001/00;

H04L-009/32

File Segment: EPI; EngPI

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-90033

(P2000-90033A)

(43)公開日 平成12年 3 月31日 (2000. 3. 31)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 13/00	3 5 4	G 0 6 F 13/00	3 5 4 A 5 B 0 8 5
	3 1 0	15/00	3 1 0 D 5 B 0 8 9
G 0 9 C 1/00	6 6 0	G 0 9 C 1/00	6 6 0 E 5 J 1 0 4
H 0 4 L 9/32		H 0 4 L 9/00	6 7 3 A

審査請求 未請求 請求項の数9 O L (全 8 頁)

(21)出願番号	特願平10-258888	(71)出願人	392026693 エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社 東京都港区虎ノ門二丁目10番1号
(22)出願日	平成10年 9 月11日 (1998. 9. 11)	(72)発明者	深井 秀一 東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社内
		(72)発明者	和田 将宏 東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社内
		(74)代理人	100098084 弁理士 川▲崎▼ 研二 (外1名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 サーバ装置、通信端末装置、サーバ装置の制御方法及び通信端末装置の制御方法

(57)【要約】

【課題】 複数の通信端末装置を用いる際のユーザによるURLの登録の手間を軽減する。

【解決手段】 サーバ側にURLを記憶するように構成し、サーバ側の制御下であるいは通信端末装置側の制御下で、当該URLに対応するインターネットリソースにアクセスすることが可能となり、ユーザの登録の手間を軽減しつつ、同一ユーザであれば、通信端末装置が異なっても、いわゆるブックマークブラウジングを容易に行うことができる。

簡易データベース

加入番号	個人情報		登録URL
	ユーザID/パスワード	住所	
010-11-12345	1234 ABCD	加入者名 福田 凉子 東京都中央区...	http://www.ABC http://www.DEFGHI/ http://www.JKL ...
010-21-34567	2345 DEFG	西村 裕二 千葉県千葉市...	http://www.KLM

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークを介して通信端末装置が接続され、前記通信端末装置をインターネットに接続するためのサーバ装置において、

ユーザ毎に、前記各ユーザが特定したインターネットリソースにアクセスするための情報であるインターネットリソース情報を記憶するインターネットリソース情報記憶手段を備えたことを特徴とするサーバ装置。

【請求項 2】 請求項 1 記載のサーバ装置において、前記ネットワークを介して通信端末装置が接続された場合に当該通信端末装置側から指定された前記インターネットリソース情報に対応するインターネットリソースに当該通信端末装置をアクセスさせるための処理を行うアクセス処理手段を備えたことを特徴とするサーバ装置。

【請求項 3】 請求項 1 記載のサーバ装置において、前記ネットワークを介して通信端末装置が接続された場合に、当該通信端末装置に対し、前記インターネットリソース情報記憶手段に記憶したインターネットリソース情報を送信するインターネットリソース情報送信手段を備えたことを特徴とするサーバ装置。

【請求項 4】 請求項 3 記載のサーバ装置において、前記通信端末装置から前記ユーザを特定するためのユーザ特定情報を受信するユーザ特定情報受信手段を有し、前記インターネットリソース情報送信手段は、前記ユーザ特定情報に対応するユーザについての前記インターネットリソース情報を当該ユーザに送信することを特徴とするサーバ装置。

【請求項 5】 請求項 1 記載のサーバ装置と前記ネットワークを介して接続される通信端末装置であって、前記インターネットリソース情報記憶手段に記憶された前記インターネットリソース情報に基づいて、当該インターネットリソース情報に対応する前記インターネットリソースにアクセスするリソースアクセス手段を備えたことを特徴とする通信端末装置。

【請求項 6】 請求項 3 または請求項 4 記載のサーバ装置と前記ネットワークを介して接続される通信端末装置であって、

送信された前記インターネットリソース情報を一時的に記憶するインターネットリソース一時記憶手段と、

前記インターネットリソース一時記憶手段に記憶した前記インターネットリソース情報に基づいて、当該インターネットリソース情報に対応する前記インターネットリソースにアクセスするリソースアクセス手段と、を備えたことを特徴とする通信端末装置。

【請求項 7】 ネットワークを介して通信端末装置が接続され、前記通信端末装置をインターネットに接続するためのサーバ装置の制御方法において、

ユーザ毎に、前記各ユーザが特定したインターネットリソースにアクセスするための情報であるインターネットリソース情報を予め記憶するインターネットリソース情

報記憶工程と、

前記ネットワークを介して通信端末装置が接続された場合に当該通信端末装置側から指定された前記インターネットリソース情報に対応するインターネットリソースに当該通信端末装置をアクセスさせるための処理を行うアクセス処理工程と、を備えたことを特徴とするサーバ装置の制御方法。

【請求項 8】 ネットワークを介して通信端末装置が接続され、前記通信端末装置をインターネットに接続するためのサーバ装置の制御方法において、

ユーザ毎に、前記各ユーザが指定したインターネットリソースにアクセスするための情報であるインターネットリソース情報を予め記憶するインターネットリソース情報記憶工程と、

前記ネットワークを介して通信端末装置が接続された場合に当該通信端末装置に対し、記憶した前記インターネットリソース情報を送信するインターネットリソース情報送信工程と、

を備えたことを特徴とするサーバ装置の制御方法。

20 【請求項 9】 請求項 3 または請求項 4 記載のサーバ装置と前記ネットワークを介して接続される通信端末装置の制御方法であって、

送信された前記インターネットリソース情報を一時的に記憶するインターネットリソース一時記憶工程と、

一時的に記憶した前記インターネットリソース情報に基づいて、当該インターネットリソース情報に対応する前記インターネットリソースにアクセスするリソースアクセス工程と、

を備えたことを特徴とする通信端末装置の制御方法。

30 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、サーバ装置、通信端末装置、サーバ装置の制御方法及び通信端末装置の制御方法に係り、特に予めユーザが登録したURL (Uniform Resource Location) に存在するインターネットリソースにアクセスするための技術に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、通信端末に対して通信回線を介して情報を提供する技術が知られている。例えば、パソコン通信であれば、ユーザの通信端末装置を電話回線を通じてパソコン通信会社のホストコンピュータに接続し、ホストコンピュータが提供する情報を得ることができる。また、インターネットに接続する場合は、ユーザの通信端末装置をプロバイダに接続し、プロバイダがインターネットとの接続を代行することによってユーザにインターネット上の情報を提供している。この場合に、プロバイダは、接続した通信端末に対してIPアドレス (インターネットプロトコルアドレス) を付与することによって、インターネット上の情報を提供している。ところで、インターネット上で提供される情報の所在は、

一般的にURLで表され、このURLに基づいて通信端末装置に各種表示などを行うこととなる。

【0003】例えば、URLが、

http://www.XYZ.co.jp/DRCT/file\_name

であれば、httpプロトコルを用いて、「www.XYZ.co.jp」というホストコンピュータにアクセスして「DRCT」ディレクトリにある、「file\_name」という対象ファイルを取得して、ブラウザが通信端末装置のディスプレイに表示を行うこととなっている。上述したURLは、場合によっては、非常に長く、複雑であるため、各ユーザが記憶しておくことは困難である。そこで従来においては、通信端末装置の記憶装置（例えば、ハードディスクなどの外部記憶装置）に当該ユーザがお気に入りのインターネットリソースに対応するURLを登録（記憶）させておき、インターネットへ接続する度に記憶したURLをディスプレイに表示させ、ユーザが選択動作を行うことにより、当該選択したURLに対応する表示を行うようにしていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記従来のURLの登録は、各通信端末装置毎に行う必要があり、同一ユーザであっても通信端末装置が異なる場合には、各通信端末装置毎に登録を行わなければならないという問題点があった。そこで、本発明の目的は、ユーザのURLの登録の手間を軽減し、同一ユーザであれば、通信端末装置が異なっても予め登録したURLを用いてインターネットリソースに容易にアクセスすることが可能なサーバ装置、通信端末装置、サーバ装置の制御方法及び通信端末装置の制御方法を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上述した課題を解決するため、請求項1記載の構成は、ネットワークを介して通信端末装置が接続され、前記通信端末装置をインターネットに接続するためのサーバ装置において、ユーザ毎に、前記各ユーザが特定したインターネットリソースにアクセスするための情報であるインターネットリソース情報を記憶するインターネットリソース情報記憶手段を備えたことを特徴としている。

【0006】請求項2記載の構成は、請求項1記載の構成において、前記ネットワークを介して通信端末装置が接続された場合に当該通信端末装置側から指定された前記インターネットリソース情報に対応するインターネットリソースに当該通信端末装置をアクセスさせるための処理を行うアクセス処理手段を備えたことを特徴としている。

【0007】請求項3記載の構成は、請求項1記載の構成において、前記ネットワークを介して通信端末装置が接続された場合に、当該通信端末装置に対し、前記インターネットリソース情報記憶手段に記憶したインターネットリソース情報を送信するインターネットリソース情

報送信手段を備えたことを特徴としている。

【0008】請求項4記載の構成は、請求項3記載の構成において、前記通信端末装置から前記ユーザを特定するためのユーザ特定情報を受信するユーザ特定情報受信手段を有し、前記インターネットリソース情報送信手段は、前記ユーザ特定情報に対応するユーザについての前記インターネットリソース情報を当該ユーザに送信することを特徴としている。

【0009】請求項5記載の構成は、請求項1記載のサーバ装置と前記ネットワークを介して接続される通信端末装置であって、前記インターネットリソース情報記憶手段に記憶された前記インターネットリソース情報に基づいて、当該インターネットリソース情報に対応する前記インターネットリソースにアクセスするリソースアクセス手段を備えたことを特徴としている。

【0010】請求項6記載の構成は、請求項3または請求項4記載のサーバ装置と前記ネットワークを介して接続される通信端末装置であって、送信された前記インターネットリソース情報を一時的に記憶するインターネットリソース一時記憶手段と、前記インターネットリソース一時記憶手段に記憶した前記インターネットリソース情報に基づいて、当該インターネットリソース情報に対応する前記インターネットリソースにアクセスするリソースアクセス手段と、を備えたことを特徴としている。

【0011】請求項7記載の構成は、ネットワークを介して通信端末装置が接続され、前記通信端末装置をインターネットに接続するためのサーバ装置の制御方法において、ユーザ毎に、前記各ユーザが特定したインターネットリソースにアクセスするための情報であるインターネットリソース情報を予め記憶するインターネットリソース情報記憶工程と、前記ネットワークを介して通信端末装置が接続された場合に当該通信端末装置側から指定された前記インターネットリソース情報に対応するインターネットリソースに当該通信端末装置をアクセスさせるための処理を行うアクセス処理工程と、を備えたことを特徴としている。

【0012】請求項8記載の構成は、ネットワークを介して通信端末装置が接続され、前記通信端末装置をインターネットに接続するためのサーバ装置の制御方法において、ユーザ毎に、前記各ユーザが指定したインターネットリソースにアクセスするための情報であるインターネットリソース情報を予め記憶するインターネットリソース情報記憶工程と、前記ネットワークを介して通信端末装置が接続された場合に当該通信端末装置に対し、記憶した前記インターネットリソース情報を送信するインターネットリソース情報送信工程と、を備えたことを特徴としている。

【0013】請求項9記載の構成は、請求項3または請求項4記載のサーバ装置と前記ネットワークを介して接続される通信端末装置の制御方法であって、送信された

## 5

前記インターネットリソース情報を一時的に記憶するインターネットリソース一時記憶工程と、一時的に記憶した前記インターネットリソース情報に基づいて、当該インターネットリソース情報に対応する前記インターネットリソースにアクセスするリソースアクセス工程と、を備えたことを特徴としている。

【0014】

【発明の実施の形態】次に図面を参照して、本発明の好適な実施形態について説明する。

【0015】[1] 実施形態の構成

[1. 1] 概要構成

図1に実施形態の概要構成図を示す。図1に示すように、本実施形態は、プロバイダなどの業者が有するセンタ300が、通信回線(移動網200)を介してユーザの携帯端末装置100に情報を提供するように構成されている。

【0016】携帯端末装置100は、例えば携帯電話や自動車電話などの移動通信装置100Aに接続された情報処理装置あるいは電話機能を有する情報処理装置であり、基地局BSを介して移動網200に接続される。

【0017】移動網200は、携帯電話などの移動通信にかかるネットワークを構成しており、移動交換機201およびインターワーク装置(IWE)202を備えている。移動交換機201は、移動網200に対応する通信サービスに加入している携帯端末装置100の回線を収容した交換機である。インターワーク装置202は、センタ300専用の加入者交換機であり、インターワーク装置202とセンタ300とは、専用線を介して接続されている。

【0018】センタ300は、本発明にかかるサーバ装置としての機能の提供を行うためのものであり、その詳細な構成については後述する。センタ300は、さらにインターネット400および、他社センタ501、502、503に接続されており、インターネット400上のインターネットサーバ401、402から提供される情報や他社センタ501、502、503から提供される情報を携帯端末装置100に提供できるようになっている。

【0019】[1. 2] センタの構成

次に、図2を参照して、センタ300の構成について説明する。まず、図示するように、センタ300は、インターワーク装置202と専用線を介して接続されており、エージェントサーバ301によりインターネット接続サービス及びコンテンツ提供サービスを実現している。

【0020】より具体的には、インターネット接続サービスは、簡易な手続きでインターネットに接続させることによって、インターネット上の情報を提供するためのサービスである。他方、コンテンツ提供サービスは、高いセキュリティの下に、センタ300が保有する情報

## 6

や、他社センタ(A社センタ501、B社センタ502、C社センタ503)が保有する情報を、課金した上で携帯端末装置100に適した形式で提供するサービスである。

【0021】また、本実施形態では、「インターネット接続サービス」の提供を受けるために接続する際のユーザの接続先の電話番号であるインターネット接続用電話番号と、「コンテンツ提供サービス」の提供を受けるために接続する際のユーザの接続先の電話番号である情報提供用電話番号とは異なった電話番号にしている。従って、センタ300側では、接続先の電話番号によって提供すべきサービスを判別している。そして、いずれのサービスの提供においても、接続した携帯端末装置100に対してIPアドレス(インターネットプロトコルアドレス)を付与し、付与したインターネットプロトコルを用いて情報を提供する。

【0022】ところで、「インターネット接続サービス」は、単にインターネット400上の情報をそのまま携帯端末100に提供するサービスであるので、あまり厳密なユーザ認証方法は要求されない。むしろ、ユーザは、簡易な手続で迅速に接続できることを要求している。これに対して、「コンテンツ提供サービス」は、課金を必要とするような情報の提供を行ったり、あるいは、予め登録された個人情報に基づいて情報を提供したりするサービスであるので、よりセキュリティの高いユーザ認証方法が要求される。そこで、「インターネット接続サービス」においては、携帯端末装置100がインターネット接続用電話番号を用いて接続要求を行う際に発信する呼設定信号に含まれる加入者(電話)番号に基づいて認証を行い、IPアドレスを付与する。従って、ユーザは、単にインターネット接続用電話番号にダイヤルするだけで、インターネット400に接続できるとなり、従来のようにユーザID、パスワード等を用いた認証を行う場合と比較してより迅速にインターネットに接続することが可能となる。これに対して「コンテンツ提供サービス」においては、携帯端末装置100が情報提供用電話番号を用いて接続要求を行う際に発信する呼設定信号に含まれる加入者(電話)番号の他に、ユーザIDおよびパスワードに基づいて認証を行っている。従って、接続の迅速性はインターネット接続サービスの場合と比較して低くなるが、より高いセキュリティを確保することが可能となる。

【0023】このような、「インターネット接続サービス」および「コンテンツ提供サービス」によって、ユーザに対してサービスを提供するために、センタ300は、図2に示す各種サーバ(エージェントサーバ301、顧客サーバ302、課金サーバ303、ファイヤウォール304、コンテンツサーバ306、及びウェブサーバ307)を備えネットワークシステムとして構成されている。

【0024】センタ300のエージェントサーバ301は、ユーザ認証や各サーバの連携を行うためのサーバであり、ネットワークの保守・監視や、アプリケーションの提供などの他、表示形式の変換などの処理も行う。また、携帯端末装置100において表示可能なデータ形式に制限がある場合などには、インターネット400上のコンテンツや他社センタ501、502、503のコンテンツなどの外部コンテンツを携帯端末100に適した表示形式のデータに変換する。

【0025】顧客サーバ302は、各ユーザ毎に予め登録されたURL（＝インターネットリソース情報）を含む後述する顧客データを記憶したサーバであり、エージェントサーバの指示により、他のサーバに顧客データを送信する。これにより顧客データを受信した他のサーバは、顧客データに基づいて情報提供のための処理を行うことができることとなる。

【0026】ファイアウォール304は、インターネット400に接続された、外部からセンタ300を保護するためのサーバであり、通過させるデータの選別などを行う。コンテンツサーバ306は、携帯端末100に提供するための情報（コンテンツ）を記憶したサーバである。また、ウェブサーバ307は、GUIを利用したホームページ等の画像情報、音声情報を含む各種情報を提供するためのサーバである。

【0027】〔1.3〕顧客データベース  
ここで、顧客サーバ302に記憶されている顧客データについて説明する。センタ300からコンテンツ提供サービスをうけるべく登録されているユーザ（顧客）についての情報は、携帯端末100の加入者番号毎に記録されて顧客データベースとして管理されている。そして、顧客サーバ302は、エージェントサーバ301から送信された加入者番号（携帯端末装置100が接続要求時に発信する呼設定信号に含まれている）に基づいてデータを検索できるようになっている。

【0028】図3に顧客データベースの内容の一例を示す。顧客データベースは、図3に示すように、加入者番号に対応して、認証情報、個人情報及び当該ユーザの登録したURL等を記憶している。ユーザ認証情報は、ユーザIDおよびパスワードなどからなり、ユーザIDおよびパスワードは、契約時にユーザが予め登録した情報であるが、パスワードは任意に更新することが可能である。

【0029】本実施形態では、センタ300に接続した携帯端末装置100を特定する情報として加入者番号を用い、ネットワークに接続したユーザを特定する情報としてユーザIDおよびパスワードを用いる。従って、上記「インターネット接続サービス」では、接続した携帯端末装置100を特定する加入者番号が顧客データベースに登録されていれば情報を提供するのに対して、「コンテンツ提供サービス」では、接続した携帯端末装置1

00を特定する加入者番号およびユーザを特定するユーザ認証情報が顧客データベースに登録されていなければ情報を提供しない。すなわち、「情報提供サービス」においては、携帯端末装置100を特定するための加入者番号とユーザ認証情報とが一致して初めて接続が許可されるので、第三者がユーザ認証情報であるユーザIDおよびパスワードを不正に入手して、顧客データベースに登録されている携帯端末装置100とは異なる携帯端末装置100'から接続要求を発信しても接続が許可されることはない。あるいは、顧客データベースに登録された携帯端末100を不正なユーザが使用した場合であっても、当該不正なユーザは、ユーザ認証情報であるユーザIDおよびパスワードを知らなければ接続を許可されないこととなる。

【0030】次に、顧客データベースの個人情報は、加入者名、住所、生年月日などからなる。このような顧客の個人情報は、個々の顧客毎に特有の情報を提供する際に、その情報の提供にかかる処理を行うサーバに送信されるようになっている。なお、本実施形態では、個人情報を第三者が勝手に利用することができないように、「コンテンツ提供サービス」におけるユーザ認証を行った後に他のサーバに送信されるようになっている。

【0031】また、登録URLは、ユーザがよくアクセスするインターネットリソースに対応するURLが複数登録されている。より具体的には、図3に示すように、加入者番号＝「010-11-12345」に対応する登録URLは、

http://WWW.ABC  
http://WWW.DEF/GHI/  
http://WWW.JKL

.....

となっている。なお、図3では、URLのみを記載しているが、ユーザの使い勝手を向上すべく、各URLにわかりやすい名称を登録させ、記憶させるように構成するのが望ましい。これにより、ユーザがよくアクセスするインターネットリソースが複数存在する場合等には、ユーザがネットワークに接続する度にいちいち難解なURLを入力するよりも、迅速に当該インターネットリソースにアクセスできるようになる。さらにURLをサーバに登録しておくことにより、通信端末装置100を構成する情報処理装置（コンピュータやPDA等）が異なる場合でも、加入者番号（必要に応じて、さらにユーザID及びパスワード）さえ一致すれば、登録URLを利用することができ、ユーザが利用する情報処理装置が異なる場合でも新たに登録する必要もない。

【0032】〔2〕実施形態の動作

次に、本実施形態の動作について説明する。

〔2.1〕認証動作

まず、図4のシーケンスフローチャートを参照して、本実施形態における認証動作を、「インターネット接続サ

10

20

30

40

50

ービス」の場合を例として説明する。ユーザは、携帯端末装置 100 により移動網 200 に対して加入者番号を含む呼設定信号を発信して接続要求を行う（ステップ S101）。移動網 200 は、接続要求に基づいて回線接続を行うとともに、受信した加入者番号をセンタ 300 に送信する（ステップ S102）。

【0033】センタ 300 は、受信した加入者番号に基づいて認証を行い、携帯端末 100 との間で同期確立などの処理であるネゴシエーションを行う（ステップ S103）。この場合における認証は、先に説明したように、受信した加入者番号が顧客サーバ 302 内の顧客データベースに登録されているか否かに基づいて行う。そして、ネゴシエーションが終了すると、センタ 300 は IP アドレスを携帯端末装置 100 に割り当てて、割り当てた IP アドレスを移動網 200 に送信する（ステップ S104）。IP アドレスの割り当てには、センタ 300 が予め管理している IP アドレスの中から認証時に他の携帯端末等に使用されていない IP アドレスを用いる。次に、移動網 200 は、IP アドレスを携帯端末装置 100 に送信する（ステップ S105）。その後、携帯端末装置 100 とセンタ 300 間において、IP アドレスを用いたデータ送受信が行われる（ステップ S106）。

【0034】[2. 1. 1] 登録 URL を用いたインターネットリソースへのアクセス動作  
ここで、データ送受信の具体例として、登録 URL を用いたインターネットリソースへのアクセス動作について説明する。以下の説明において、携帯端末装置 100 により移動網 200 に対して送信される加入者番号は、「010-11-12345」（図 3 参照）であるものとする。まず、センタ 300 のエージェントサーバ 301 は、顧客サーバ 302 にアクセスし、加入者番号＝「010-11-12345」に対応する登録 URL を送信させる。これによりエージェントサーバ 301 は、携帯端末装置 100 の図示しない表示装置の表示画面上に登録 URL（あるいは、登録 URL に対応する名称）を表示させ、ユーザによる選択を促す表示を行う。これにより、ユーザがいずれかの登録 URL を選択すると、エージェントサーバ 301 は、例えば、ルータ R11、ルータ R12 及びファイヤウォール 304 を介してインターネット 400 に接続し、携帯端末装置 100 は、対応するインターネットリソースにアクセスすることとなる。

【0035】[3] 実施形態の変形例

[3. 1] 第 1 変形例

以上の説明においては、エージェントサーバ 304 が、携帯端末装置 100 の図示しない表示装置の表示画面上に登録 URL（あるいは、登録 URL に対応する名称）を表示させ、ユーザによる選択を促す表示を行う構成としていたが、登録 URL（及び登録 URL に対応する名

称）を携帯端末装置 100 側に送信し、従来の端末装置と同様に携帯端末装置 100 側のブラウザにより、表示及び他ネットワークへのアクセス制御を行うように構成することも可能である。

【0036】[3. 2] 第 2 変形例

上記実施形態においては、公衆回線として移動網 200 を例として説明したが、固定網であっても構わない。この場合においては、通信端末装置 100 には固定の電話機が該当し、移動交換機 201 には、固定網の交換機が該当することとなる。また、従来の固定の電話機においては、発呼時に加入者番号データを送信しないので、通信端末装置 100 である固定の電話機に代えて交換機が当該通信端末装置 100 の加入者番号データをセンタ 300 に送信するように構成すればよい。この場合においては、図 4 に示したステップ S101 では、通信端末装置 100 から加入者番号データを含まない呼出信号が送信されることとなる。

【0037】[3. 3] 第 3 変形例

上記実施形態においては、加入者番号データを用いていたが、当該通信端末装置 100 を特定できるデータであれば、いかなるデータを用いるように構成することも可能である。例えば、当該通信端末装置 100 固有の装置番号（製品シリアル番号）を用いるように構成すればよい。

【0038】[4] 実施形態の効果

上述したように、本実施形態によれば、サーバ側に URL に関する情報を登録することができるので、端末装置装置毎によく利用する URL を登録する必要がなく、各ユーザ毎に一度の登録だけで、いわゆるブックマークブラウジングをユーザが保有する様々な端末装置を利用して行うことができる。

【0039】

【発明の効果】本発明によれば、サーバ側にインターネットリソース情報を記憶するように構成し、サーバ側の制御下であるいは通信端末装置側の制御下で、当該インターネットリソース情報に対応するインターネットリソースにアクセスすることが可能となる。この結果、ユーザの登録の手間を軽減しつつ、同一ユーザであれば、通信端末装置が異なっても予め登録した URL を用いて、いわゆるブックマークブラウジングを容易に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 実施形態の全体構成を示す図である。

【図 2】 センタの構成を示す図である。

【図 3】 顧客データベースの一例を示す図である。

【図 4】 インターネット接続サービスにおける動作シーケンスフローチャートである。

【符号の説明】

100……携帯端末

BS……基地局

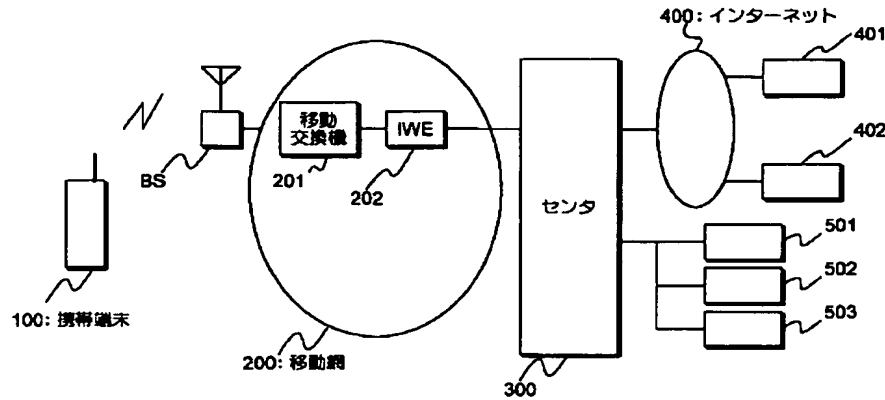
11

200……移動網  
 201……移動交換機  
 202……インターワーク装置  
 300……センタ  
 301……エージェントサーバ  
 302……顧客サーバ

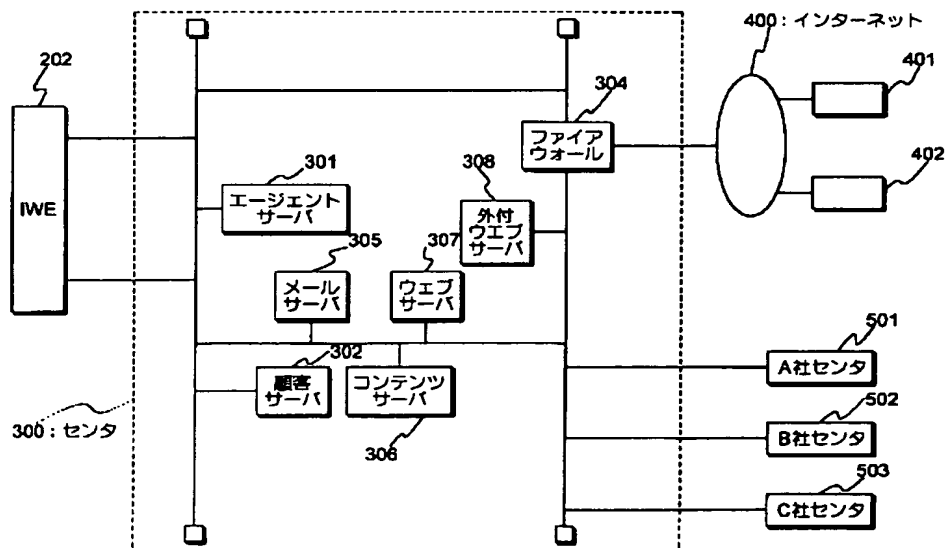
12

304……ファイヤウォール  
 306……コンテンツサーバ  
 307……ウェブサーバ  
 400……インターネット  
 401、402……インターネット上サーバ  
 501、502、503……他社センタ

【図 1】



【図 2】



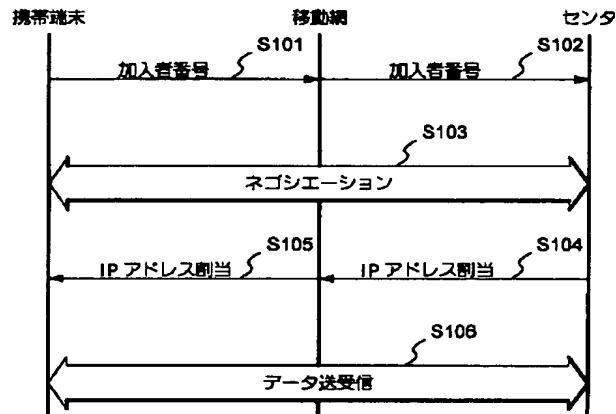


【図 3】

顧客データベース

加入者番号	認証情報		個人情報			登録 URL
	ユーザ ID	パスワード	加入者名	住所	生年月日	
010-11-12345	1234	ABCD	森田 涼子	東京都中央区...	1970.01.01	http://www.ABC http://www.DEF/GHI/ http://www.JKL ⋮
010-21-34567	2345	DEFG	西村 裕二	千葉県千葉市...	1960.12.31	http://www.KLM
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

【図 4】



フロントページの続き

(72) 発明者 佐藤 祐子  
 東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 エヌ・  
 ティ・ティ移動通信網株式会社内

(72) 発明者 坂本 文哉  
 東京都千代田区丸の内二丁目2番1号 日  
 本船舶通信株式会社内

Fターム(参考) 5B085 AC03 AE01 AE23 BG07  
 5B089 GA12 GA25 GB02 HA01 HA10  
 HA13 JA21 KA03 KB07 KC34  
 LB02  
 5J104 AA07 KA01 NA05 NA06 NA27  
 PA02 PA09